



編集

豊平区役所総務企画課広聴係

〒062-8612

豊平区平岸6条10丁目

☎822-2407 ㊚813-3603

とよひら元気印 (第77回)

ひこさか うたこ
彦坂 歌子 さん (80)

水泳インストラクター

平成24年度札幌市社会教育功労者表彰受賞 豊平区福住在住

80歳 現役の水泳インストラクター

彦坂さんはこれまで多くの障がい者に水泳を教えてきた現役の水泳インストラクターです。札幌市障がい者スポーツ大会（すずらんピック）などの大会運営にも携わり、幅広く障がい者スポーツの振興に貢献してきました。その長年の活動が高く評価され、昨年11月には札幌市社会教育功労者表彰を受賞しました。

彦坂さんが水泳を始めたのは43歳から。子育てが一段落して、自分の時間ができたときに近所の人に誘われ、真駒内にある青少年会館の水泳教室に通い始めました。当時のことを「コーチの指導で学ぶ多くのことが、新鮮で楽しかったのを覚えています。できなかったことができるようになるのがうれしかったんですね」と振り返ります。得意な泳ぎ方は平泳ぎ。着実に練習を重ね、50代後半には年代別の大会で優勝したこともあります。68歳で選手を引退してから、指導や大会運営という形で水泳に関わり続けています。



泳ぐこと自体を楽しんでほしい

50代のころから水泳教室でアシスタントをするようになり、指導者資格を取ったという彦坂さん。脳性まひや知的障がいの子どもたちに教えた経験もあります。第1回全国知的障害者スポーツ大会で、失敗してしまった子のフォローをするために、隣のコースで見守りながら泳いだことを今でも覚えているそうです。「あの子の普段からの頑張りを無駄にさせないために必死でした。無事に泳ぎ切ったときは胸がいっぱいになりました。良い思い出です」

現在は週に一回、平岸プールで身体障がい者に教えています。「できること、できないことは一人一人違います。長い目で見て、できる事から練習していくことが大切。人に教えるのは自分のためにもなります。みんな一生懸命で、私も負けてられないという気持ちになるんです」と真剣な表情で話します。

「私自身、水泳が好きで楽しんでいます。みんなにも泳ぐことの楽しさや充実感を感じてほしい」と目を輝かせながら話す彦坂さん。これからも多くの生徒を教えていきます。

▶平成17年に岡山で行われた全国障害者スポーツ大会会場で（中列左から3番目が彦坂さん）。



◀昨年11月に行われた札幌市社会教育功労者表彰の様子。



豊平区の人口・世帯数

人口	216,585人	(+909)
男	100,789人	(+495)
女	115,796人	(+414)
世帯数	111,744世帯	(+796)
(5月1日現在。()内は前月比)		

